

社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

平成21年度第1回通常総会議事録

日 時 平成21年6月18日(木) 18時30分～20時00分
場 所 (財)ブルーシーアンドグリーンランド財団 会議室
東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル

1. 定 足 数 の 確 認

出席会員16名、委任状31名、合計47名。従って正会員現在数82名の2分の1を超えて第28条(総会成立)の定足数に達しており、本総会の成立を確認した。

2. 開 会 の 挨 拶 佐藤 精知夫 副会長

石原会長が公務で多忙のため遅れているので、佐藤副会長が開会の挨拶を行った。

3. 会 長 挨 拶

その後石原会長が出席し挨拶を行った。

現在自民党幹事長代理で、広報の仕事もしており、党のコマーシャルも作りました。連盟役員の皆さんは、全国でいろいろなレースを開催して頑張っておられ、将来ある子供達の健全な育成に寄与されていること有難いと思います。私は多忙のためにすっかり潮気がなくなってしまいました。

然し、今年の全国大会は東京若洲で行れるのでどんな事が有ろうとも絶対に出席します。さて、衆議院議員総選挙は8月2日と言う説もありますが、全国大会に重ならない日程になると思います。

本日の総会の議事進行は佐藤副会長に一任したいので、会員の皆様の熱心な討議と今年の活動での活躍を期待します。

4. 来 賓 の 祝 辞

(1) (財) B&G 財団、広渡英治専務理事(代理、高橋海洋センター支援部次長)

本日は広渡専務理事が出張で出席出来なくなりましたので、海洋センター支援部次長の高橋が代理でご挨拶させていただきます。

毎年総会の会場として財団会議室を利用頂き感謝しております。

日本の健全な子供たちを育てるという目的は、B&G財団も(社)日本ジュニアヨットクラブ連盟と同じです。去年はプールでヨットというイベントや、「ヨットの小松一憲氏」を講師に、小豆島で中国・四国地区の10センターからの参加者によるB&Gレベルアップ研修会を行い大変盛況でした。その他いろいろ活動していますのでパンフレットをお配りします。

(2) (財)日本セーリング連盟、河野博文副会長

・2016年東京オリンピック招致活動を行っているが、I O Cの視察団が4月に来日した。ヨット会場若洲については、I S A F会長以下に説明し、バスで案内したが、皆さんがヨットを沢山海上に展開してくれたので、予定外でバスから全員が降りて20分程視察をした。パーフェクトなプレゼンテーションでヨット会場はOKとなった。

・ジュニアの指導についてはJ. J. Y. U. に宜しくお願ひしたいと思ひます。

JSAFも日本財団がスポンサーになってくれて、オリンピック選手、コーチ経験者が全国のジュニアヨットクラブを巡回して直接話しをしたり指導するプロジェクト、ジュニアセーリングアカデミーを開始した。6ヶ所を予定しているが、これにより、子供達の目が輝くようになってきた。J. J. Y. U. の青山さんにも協力頂いている。

5. 議長選出

定款第26条により会長が途中退席予定の為、定款第14条の2により、佐藤精知夫副会長が議長に選出された。

6. 議事録署名人選出

定款第30条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名が議長より推薦され全会一致で選出された。

熊川 博 氏 (江ノ島ヨットクラブジュニア代表)

浜崎 濠次郎氏 (社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)

7. 議案審議

1) 第一号議案 平成20年度事業報告書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成20年度事業報告書(案)の説明を行った。

今年の2月の総会の時に中間事業報告として説明した時からあまり変わっていません。変更点は、山梨県セーリング連盟ジュニアが新規加盟し、伊東ジュニアヨットクラブが新たに退会し、退会クラブは札幌ジュニアヨットクラブと逗子ジュニアヨットクラブと合計3クラブとなりました。

指導者研修会、安全講習会は総会当日開催予定でしたが、予定通り行いました。

オープン大会は東日本地区は山中湖、西日本地区は島根県の安来市で行いましたが、毎年佐賀県唐津で行われるJ S A F主催のユース大会、ジュニアオリンピック大会と今年も重なり西日本地区大会にはシーホッパー級とミニホッパーが一隻も参加しませんでした。又同時期にOP級九州大会が開催されたこともOP級の参加数減になったと考えられます。

和歌山の全国大会ではレーザーフリートにも参加してくれる様声をかけてみましたが、一週間前に同じ和歌山で、J S A F共催のユース大会、ジュニアオリンピック大会が開催され、選手、保護者の経費軽減策や両大会参加選手へのインセンティブなどをいろいろと提案しましたが、選手が分散されたと考えられます。

その後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

2) 第二号議案 平成20年度財務諸表(案)

伊藤専務理事より配布資料に沿い平成20年度財務諸表(案)について説明を行った。

一般会計と大会別の3つの特別会計と分かれています。

一般会計でリストでは年会費が多少未納クラブ代表者がおりますが、3月末以降にほとんど入金されています。

特別会計は2月の通常総会で既に説明済みです。

以上の説明後に、議長の要請によって、大房監事より監査報告があった。

5月18日に石崎、大房両監事により行なわれた監査結果については、財務諸表の通り、極めて適切に処理されており、法人の収支状況、財産状況を正しく示している。又、理事の職務執行に関しても不正、法令・定款違反の事実はないと報告された。

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

議長は、以上をもって平成21年度第1回通常総会の議案の審議は全て終了したので、19時30分閉会を宣言した。

8. 報告事項

(1) 第29回日本少年少女オープンヨット大会(東日本地区大会)について:

山梨県セーリング連盟理事長の田辺文得氏が欠席となったので、小松勇一理事より、実施報告が行われた。

今年は、昨年より参加艇がやや少なく84艇で、2名乗艇のFJ級が5艇あったので参加選手数は89名。各クラブのシーホッパーやレーザークラスが少なかった。カレーパーティーや湖岸は大変盛り上がりしていた。

昨年よりはやや少なかったけれども良いレース、大会が出来た。

(2) 第29回日本少年少女オープンヨット大会(西日本地区大会)について

広島観音マリーナ等の地元の人が出席出来ないため、内藤武夫理事が実施報告を行った。

広島県観音マリーナで開催したが、今年は57隻の参加で、昨年よりは多いものの、従来に比べ少ない。他の大会と重なるので西日本地区は日程を変えたらどうかと提案したが各クラブから未だに返事がない。

私は6月第2週の日曜日に大会を米子で開催したらどうかと思い提案した。

6月は全国環境月間なので5月に開催される西日本地区オープン大会を環境保全大会として6月に開催したら、島根・鳥取の中海がラムサール条約湿地に登録されているので、鳥取県も島根県も後援してくれるし、環境省を訪問したら、後援も前向きで検討してくれると伺った。

(3) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2009(東京大会)について

東京都セーリング連盟副理事長落合光博氏より、今年の大会は2016のオリンピックの招致活動支援の大会で海外チームも11カ国招待するので是非成功させたいとの決意表明があつた。

パンフレットを配布、式典会場、宿泊施設などの準備状況の説明が行われた。

小野理事より例年通りスポーツ振興基金助成の申請をした旨報告された。

9. 閉会

司会進行の吉村事務局長よりこれで総会での報告事項が終了したことが案内された。最後に、佐藤副会長より閉会の挨拶があり、散会した。

(20時30分に終了する。)

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成21年6月18日

議長

東京都杉並区本天沼3-23-2

佐藤 精知夫 (印)

議事録署名人

神奈川県鎌倉市笛田5-11-43

浜崎 濠次郎 (印)

(社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)

議事録署名人

神奈川県藤沢市鵠沼松が風3-16-13

熊川 博 (印)

(江ノ島ヨットクラブジュニア代表)